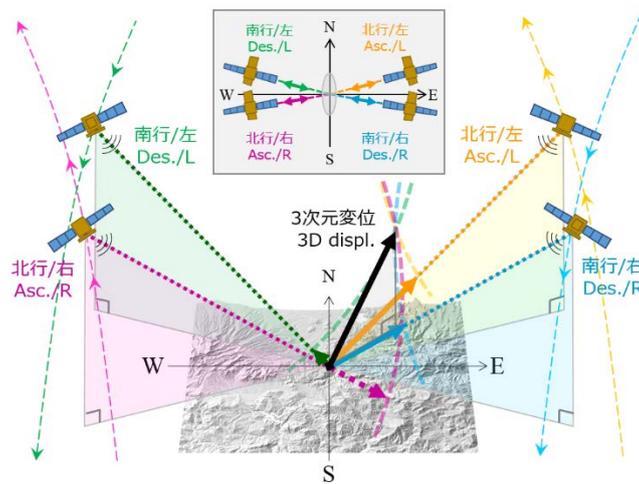
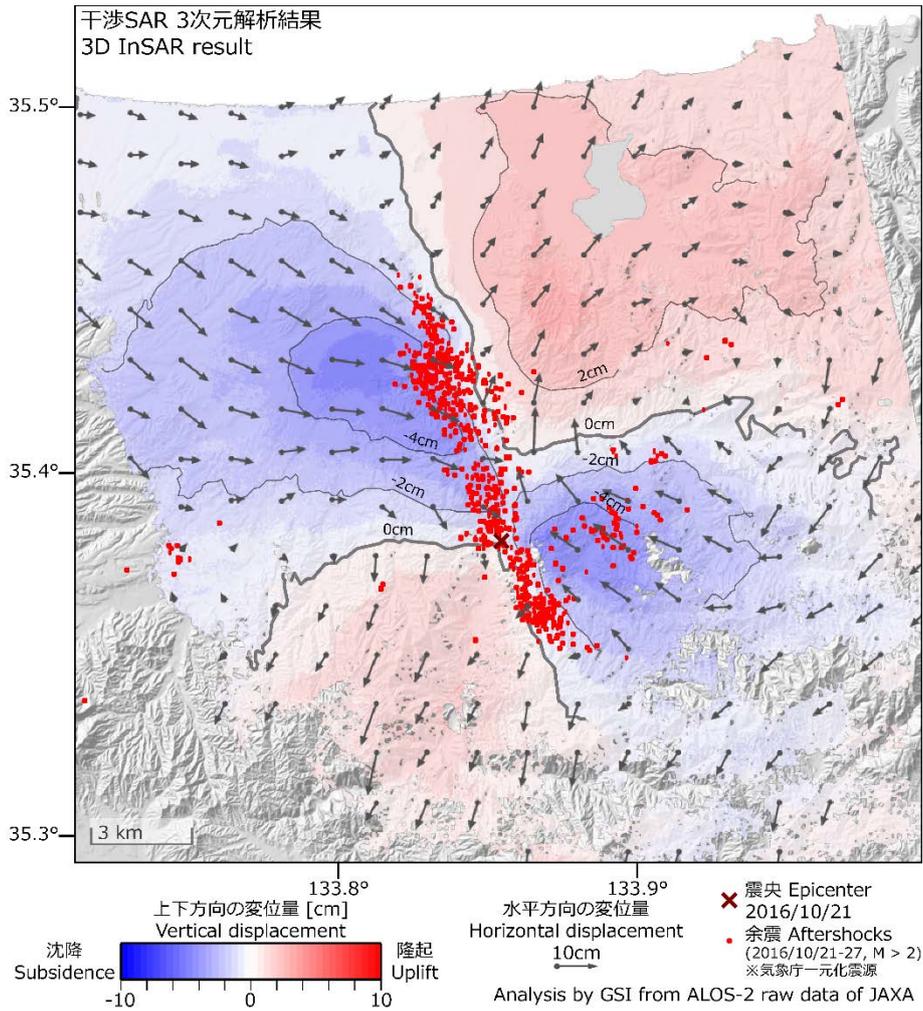


干渉 SAR 3次元解析によって求められた鳥取県中部の地震の地殻変動分布

北北西-南南東方向に延びる左横ずれ断層運動を示唆する地殻変動が見られる。



干渉 SAR 3次元解析の原理図

本成果は、地震予知連絡会 SAR 解析ワーキンググループの活動を通して得られたものです。

鳥取県中部の地震の震源断層モデル（矩形断層一様滑りモデル）

SAR（だいち2号）及びGNSSで観測された地殻変動から、北北西—南南東走向の高角の断層が左横ずれ的に動いたと推定される。

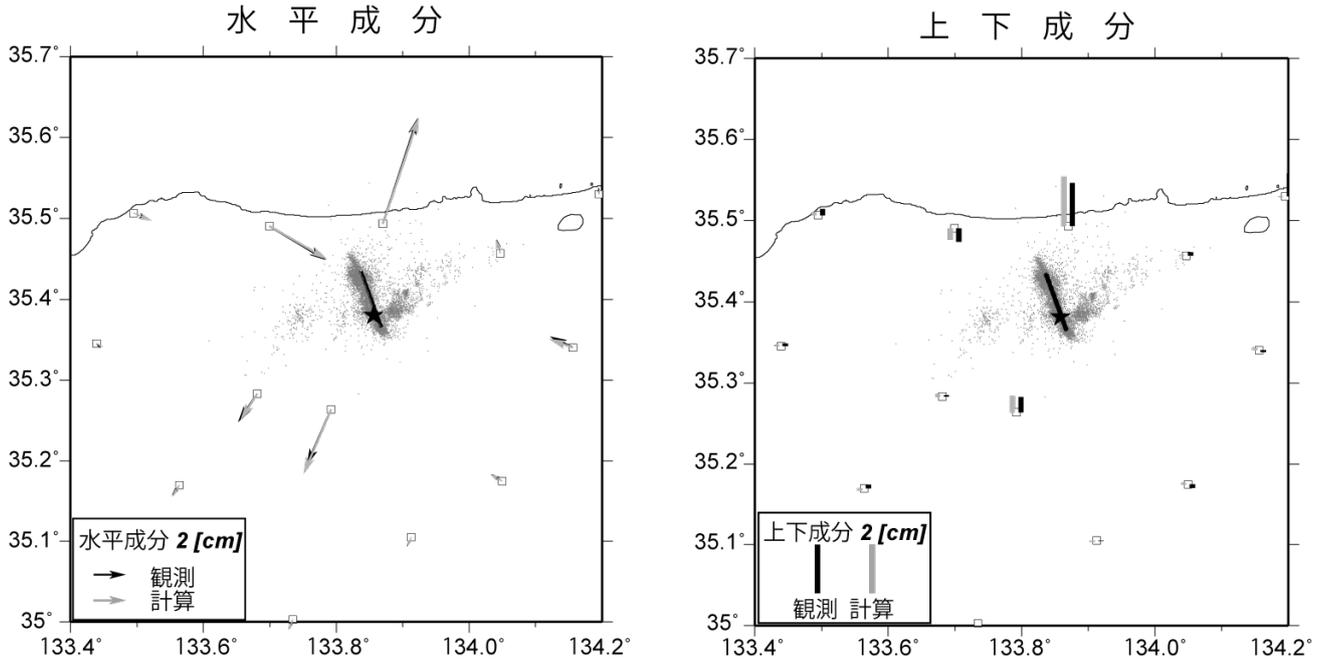


図1 GNSSデータの観測値と計算値。

（左）水平成分、（右）上下成分。実線は断層の上端位置。★印は震源。

灰色点は余震（気象庁一元化震源：2016/10/21～2016/10/27）。

表1 震源断層パラメータ

経度 [°]	緯度 [°]	上端深さ [km]	長さ [km]	幅 [km]	走向 [°]	傾斜 [°]	滑り角 [°]	滑り量 [m]	M_w
133.838 (0.007)	35.435 (0.004)	2.4 (0.6)	8.1 (1.2)	6.9 (4.0)	160 (2.0)	88 (2.6)	-2 (4.2)	1.3 (0.2)	6.15

※矩形断層1枚での推定結果。位置は断層の左上端を示す。（）内は誤差を示す（ 1σ ）。